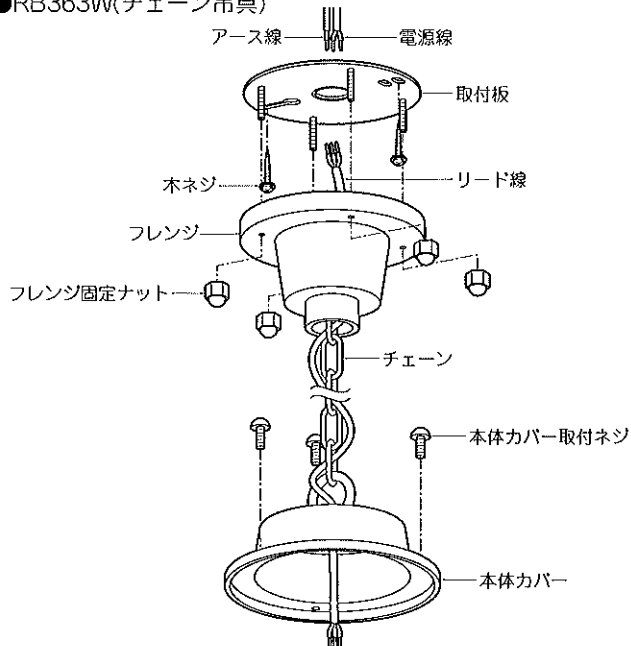


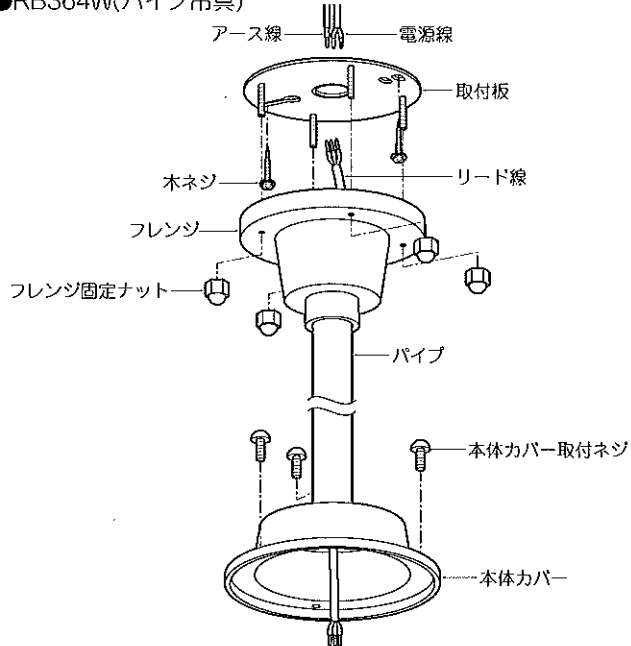
## ◆各部の名称

この図は一部省略抽象した共通部品図です

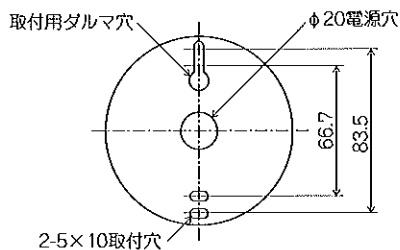
### ●RB363W(チェーン吊具)



### ●RB364W(パイプ吊具)



## ◆取付寸法



## ■清掃方法について

**△注意** 必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買い上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。

RB363W-T

## ◆取付方法

1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

**△** 感電の原因となります。

2. 器具重量に耐える様、天井面の取付面の強度を確保してください。

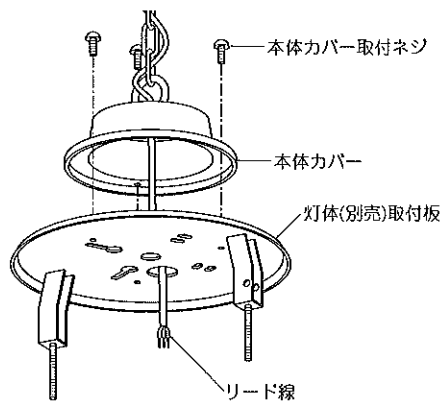
**△** 取付部の強度が不十分な場合、器具落下の原因となります。

3. フレンジ固定ナット(4個)をゆるめて、フレンジから取付板を取りはずしてください。

4. 電源線、アース線を取付板の電源穴に通した後、木ネジで取付板を天井面に取付けてください。

**△** 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

5. リード線を灯体(別売)の取付板の電源穴に通し、本体カバーを灯体(別売)の取付板に合わせて、本体カバー取付ネジ(3本)で確実に取付けてください。



**△** 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

6. 灯体(別売)に付属の取扱説明書を参照して、灯体(別売)を取付けてください。

7. 電源線とリード線を結線し、絶縁テープなどで確実に絶縁処理を行ってください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。

**△** 続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

**△** 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

8. フレンジを取付板に合わせて、フレンジ固定ナット(4個)で確実に取付けてください。

**△** 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。